

JMRC 東京ラリー部会 2024 年 総会 & 運営委員会 議事録

開催日 : 2024 年 2 月 17 日(土)18:00~19:20

場所 : 文京区民センター 会議室2B

参加者 : 11 名 以下、敬称略(クラブ)

宮城部会長(TR-8)、宇田川副部会長(TR-8)、会計安田(FQRC)、事務局高梨(RSCC)、
渡辺(TR-8)、榊田・大塚(サテラス)、桑原(スフィア)、松井(ウェルパインモータースポーツ)、
大川(かちかち山)、黒田(監事)

<議決権の成立>

東京ラリー部会登録 10 クラブ中、出席 7 クラブ、委任 3 クラブにより、過半数に達し、議決権成立とした。

議題:<総会>

- ① 2023 年度事業報告、および会計報告
- ② JMRC 東京ラリー部会規約改定
- ③ 2024 年度役員人事
- ④ 2024 年度事業計画、および予算案

<運営委員会>

- ① JMRC 関東への加盟促進について
- ② その他

議事内容:

<総会> 別紙資料参照

① 2023 年度事業および会計報告

宮城部会長より 2023 年度の活動報告が行われ、本会で承認された。

会計 安田より 2023 年度決算報告が行われ、本会で承認された。

② 部会規約改定

役員は原則として各クラブから1名とする旨の記載を追加、他2点を改定

③ 2024 年度役員人事

以下、2023 年度よりの留任に加え、大塚運営委員に会計補佐を担当頂く事、本会にて承認された。

部会長:宮城孝仁 副会長:後藤茂行、榊田健一 会計:安田真也 事務局:高梨晃臣 監事:黒田彰

④ 2024 年度事業計画および予算案

宮城部会長より 2024 年度の活動計画が発表され、本会で承認された。

会計 安田より 2024 年度予算案が提出され、本会で承認された。

以上、2024 年 総会を終了した。

<運営委員会>

① JMRC 関東への加入促進について

JMRC 関東に加入するメリットを明確にする必要あり。

オフィシャル募集を、現状は個人対個人で行っているが、JMRC 全体で、FB/ML/LINE/X 等の SNS を利用して広く遍くお知らせする方式にしてはどうか。

ラリーに参戦はしていないが活動をしている人のモチベーションアップとして、「選手・主催・手伝い・JMRC に加入した人」の4つのカテゴリーに分けてポイント制にし、クラブ単位で表彰するのは如何か。

⇒上記について、3月開催予定の関東ラリー部会に東京部会からの提案として企画案を提出。

昨年、ウェルパインモータースポーツ主催でラリーファンミーティングを富士スピードウェイで開催した。今年も 10 月に開催予定であるので JMRC との連携を行う事も可能。

以上

作成:事務局 高梨

2023年12月31日

2023年JAF関東地域クラブ協議会東京支部ラリー部会 事業報告

1. 競技会への主催協力

◎世界ラリー選手権

11月16～19日 TMSC

愛知、岐阜

◎全日本ラリー選手権

2月 3～ 5日 JAC&MOSCO (APRC)

群馬

10月13～15日 MCSC

岐阜

◎東日本ラリー選手権

5月20～21日 MSCC 群馬戦併設

群馬

10月28～29日 TR-8 長野戦併設

長野

◎関東デイルリースシリーズ

7月 1～ 2日 MSCC

福島

2. セミナー

◎B級ライセンス講習会&ラリー体験会

12月2日(土) 関東自動車大学校

午前：B級ライセンス講習会 9名受講 学生6名

午後：ラリー体験会 16台参加 35名参加

豊田市で開催されたラリージャパンのボランティアオフィシャル(約千名)

に告知により、Bライで4名、体験会で10名が参加となった。

クラブ加入者希望も2名。非常に効果的な告知であった。

3. 第19回上級救命講習会

5月14日(日) 会場：文京区小石川消防署 参加者：14名

講師：東京防災救急協会3名、小石川消防署2名、消防団3名

<講習内容>

①手当の重要性

②救命手当…観察、気道確保、人工呼吸、心臓マッサージ、異物の除去、止血法

③応急手当…傷病者管理、外傷の手当、搬送法

*ダミー人形、AEDを使用



9月11日 小石川消防署にて、「救急業務の充実発展に多大に貢献」として、感謝状(9月9日「救急の日」付)を授与された。 2016年に続き2回目の授与。

<実績>

- ・ AED一般導入初年度の2004年から大田区蒲田消防署にて開始
- ・ 2013年 文京区小石川消防署に場所を移し開催
- ・ 2016年 小石川消防署より感謝状授与
- ・ 2023年 第19回開催 累計326名受講、小石川消防署より感謝状授与



4. その他

- 役員会・運営委員会等の開催
- J M R C 関東ラリー部会に部会長(西井氏)、役員(安田氏)、運営委員(宮城氏、桑原氏)監査(高梨氏)計5人の派遣
- J M R C 東京支部 運営委員(宇田川氏、渡辺氏)の派遣

以 上

令和5年度(2023)決算報告書

(自令和5年1月1日 ~ 至令和5年12月31日)

JAF関東地域クラブ協議会

東京支部ラリー部会

収 支 計 算 書

支 出 の 部		収 入 の 部	
科目	金額	科目	金額
ラリーセミナー(体験会)	78,000	部会補助金	100,000
ラリーセミナー(上級救命)	46,028	ラリーセミナー参加収入	32,000
ラリーセミナー(Bライ)	25,026	Bライ講習会参加収入	16,500
HP管理費	5,000	救命講習会参加収入	28,000
慶弔費	16,500	雑収入	5,000
会場費	3,859	受取利息	5
zoom使用料	20,100		
(小 計)	194,513		
収支差額	-13,008		
(合 計)	181,505	(合 計)	181,505

貸 借 対 照 表 (令和5年12月31日現在)

科目	金額	科目	金額
現金	44,641	前期繰越収支差額	419,011
普通預金	606,968	未払金	245,606
	0		
		収支差額	-13,008
(合 計)	651,609	(合 計)	651,609

次期繰越収支差額 406,003 円

預金内訳
三菱UFJ銀行 巣鴨支店 普通預金 606,968 円

上記の通り相違ありません。

令和 6年 1月 日 部会長 宮城孝仁

令和 6年 1月 日 監事 黒田彰

J A F 関東地域クラブ協議会 東京支部ラリー部会規約

昭和57年4月1日制定
平成7年6月30日改定
平成10年2月18日改定
平成11年2月17日改定
平成13年3月14日改定
平成15年3月5日改定
平成22年1月22日改定
2019年 3月 2日改定
2024年 2月〇〇日改定

第1条【名称】

本部会は、J A F 関東地域クラブ協議会東京支部ラリー部会と称する。
略称を、J M R C 東京ラリー部会とする。

第2条【事務局】

事務局は、下記に置く。
〒124-0012 東京都葛飾区立石 6-22-3-706
Tel:090-1732-1357
Email: jmrctokyorally@gmail.com

第3条【目的】

本部会は、J A F 関東地域クラブ協議会東京支部規約に定められた専門部会であり、同規約の目的、活動を具体的に遂行することにより、地域モータースポーツの健全な発展に寄与することを目的とする。

第4条【構成】

本部会は、J A F 関東地域クラブ協議会東京支部に所属し、ラリー活動に関心を持ち、J M R C 東京ラリー部会への登録手続を行なったクラブ、承認チーム及び団体で構成される。

第5条【役員】

当部会には次の役員を置き、役員会を構成する。
部会長、副部会長、会計、事務局長、シリーズ運営委員長（シリーズがある場合）

第6条【役員の選出】

役員の選出は、次によって行い総会で承認を得る。

1. 部会長は、前年度の役員会によって互選される。
2. 副部会長1名は部会長の指名によって選出される。
3. その他役員は^{前年度}前年度の運営委員会によって選出される。

(追加) 4. 役員は原則として各クラブから1名とする。

第7条【役員の職務と任期】

1. 部会長は本部会を代表し、会務を統括し、会議の議事を司る。
2. 副部会長は部会長を補佐し、部会長に事故ある時は部会長から指名された~~副部会長~~^{役員}が職務を代行する。

3. シリーズがある場合はシリーズ運営委員長をおき、シリーズを総括する。

4. 役員の任期は1年とする。ただし留任を妨げない。

第8条【運営委員】

部会運営のため役員会は以下の方法による候補者より運営委員を選出する。

1. 本部会会員クラブ、承認チーム及び団体の代表者、またはその推薦を受けた者は、運営委員に立候補できる。
2. 役員会より推薦。

第9条【会議】

会議は次の通りとし、構成員の三分の一以上の要請があったとき、もしくは随時、部会長が招集する。

1. 総会（毎年事業年度終了後、年初に開催される。）
2. 役員会
3. 運営委員会

第10条【総会及び議決】

総会は前年度事業報告、決算報告、翌年度の事業計画、予算案、役員の承認等を行う

1. 議決権は前年度に当部会に登録の各クラブ、承認チーム及び団体につき1票とする。
2. 総会は委任状を含め、当部会に登録の各クラブ、承認チーム及び団体の過半数の出席で成立する。
3. 議決は委任状を含め、出席クラブ、承認チーム及び団体の過半数で決し、可否同数の場合の時は議長が決する。

第11条【役員会及び議決】

役員会は部会活動の方向性の討議、翌年度の部会長の選出等を行う

1. 委任状を含め、過半数の出席で成立する。
2. 議決は委任状を含め、出席役員の過半数で決し、可否同数の場合の時は部会長が決する。

第12条【運営委員会】

運営委員会は部会活動の運営を担う

第13条【事業】

本部会は、地域モータースポーツの発展のため、次の事業を行なう。

1. 各種セミナー、講習会
2. ラリー主催に対する支援
3. その他

第14条【会計】

1. 本部会の会計年度は1月1日に始まり、12月31日に終了する年1期とする。
2. 本部会に寄付金その他資産ある場合は、部会長がこれを管理し、その運用については、役員会の定めるところによる。
3. 当部会に登録済み所属の各クラブ、承認チーム及び団体の代表者は、会計帳簿類を閲覧できる。
4. 総会において、会計報告を行なう。

第15条【本規則の変更】

総会の議決を得なければならない。

2023年12月31日

2024年JAF関東地域クラブ協議会東京支部ラリー部会 事業計画

1. 競技会への主催協力

◎世界ラリー選手権

11月21～24日 T M S C

愛知、岐阜

◎全日本ラリー選手権

6月 7～ 9日 M O S C O

群馬

10月18～20日 M C S C

岐阜

◎東日本ラリー選手権

6月29～30日 M S C C

群馬戦併設

群馬

10月26～27日 T R - 8

長野戦併設

長野

2. セミナー

◎オフィシャル体験会、セミナー

ラリーファンの拡大、オフィシャル養成のための施策。

ラリージャパンとの連携も含め検討。

東京所属主催のM S C C, T R - 8で実施を検討

◎SSラリー体験会

関東工大で実施予定。) Bライ講習会、実技も含め開催

◎企画 有名選手を囲んでの座談会

有名選手のナマの声を聴くリアルの座談会の実施を検討

3. 上級救命講習会

マンネリ化もあり、またLSOとの棲み分けも含め、実施について再検討

4. 無線技能の向上

モスラ協会と連携し、無線使用の技術向上のための施策立案

5. その他

○J M R Cへの加入促進事業への協力

○役員会・運営委員会等の開催

○J M R C 関東ラリー部会に部会長(西井氏)、役員(安田氏)、
運営委員(宮城氏、桑原氏) 監事(高梨氏) 計5人の派遣

○J M R C 東京支部 運営委員(宇田川氏、渡辺氏)の派遣

以 上

令和6年度(2024)運営費予算

J A F 関東地域クラブ協議会
東京支部ラリー部会

科目	令和5年度予算	令和5年度実績	令和6年度予算	備考
部会補助金	100,000	100,000	100,000	
受取利息	2	5	5	
セミナー収入	50,000	32,000	40,000	
ライセンス講習会	50,000	16,500	20,000	
救命講習会	60,000	28,000	30,000	
雑収入	0	5,000	0	
(収入小計)	260,002	181,505	190,005	
ラリーセミナー事業費	100,000	78,000	80,000	
ライセンス講習会事業費	60,000	25,026	30,000	
救命講習会事業費	65,000	46,028	50,000	
慶弔費	5,000	16,500	5,000	
旅費交通費	10,000	0	10,000	
通信費(zoom)	2,000	20,100	20,000	
会議費	2,000	0	2,000	
会場費	4,000	3,859	4,000	
印刷費	2,000	0	2,000	
雑費	2,000	0	2,000	
振込料	660	0	660	
H P 管理費	5,000	5,000	5,000	
(支出小計)	257,660	194,513	210,660	
収支差額	2,342	-13,008	-20,655	
前期収支差額繰越金	419,011	419,011	406,003	
収支差額	2,342	-13,008	-20,655	
次期繰越収支差額	421,353	406,003	385,348	

R J ボランティアオフィシャルとの連携

<ボランティア人数（実人数）>

地区	人数	%	地区	人数	%
東北	1	0.1%	中国	1	0.1%
関東甲信越	68	7.2%	四国	2	0.2%
愛知	768	81.6%	九州	1	0.1%
中部	65	6.9%	不明	12	1.3%
近畿	23	2.4%	合計	941	100.0%

競技ボランティア（644名）、観戦ボランティア（297名）を区別せずに合計で算出

<告知>

1. 説明会内での告知 計4回

R J 開催前の説明会（競技ボランティア2回、観戦ボランティア2回 それぞれ同じ内容2回）の計4回の終了時に告知

2. BANDに掲載

R J 終了後、BANDにて全員に告知

<関東での施策>

1. 競技会へのオフィシャル参加

10月28日（R J 開催前）に長野県佐久市で実施の東日本戦（TR8 主催）
ボランティアにもかかわらず3名の希望で2名参加

2. B級ライセンス講習会&体験会

12月2日（R J 終了後）に埼玉県鴻巣市で関東自動車大学校と共催
講習会（午前） 一般受講生 4人中4人がR J 関連による参加
体験会（午後） 一般参加者14人中8人がR J 関連による参加

3. クラブ入会

東京のクラブ（TR8、サテラス）に計3名入会

<考察>

1. 地元であり、母数が大きい中部地区との連携を強くすることが必。

2. 遠隔地から参加する方のほうがモチベーションが高く、継続の可能性大

いずれにせよ、中部地区はもちろん、他地区としても R J との強固な協力体制を築けば、
お互いにとってメリットがあると思われる